



学校だより

第 137 号 平成 30 年 7 月 19 日

地震(津波)想定避難訓練 (7 / 2 実施)

教頭 田上 英輔

南海トラフ地震が発生した場合、本校最寄りの根岸湾に達する津波は 4 . 9 mとされています。

これに対し、本校 2 階の床面は、海拔 7 . 8 m。「2 階は安全」。その前提で、全校児童・生徒を 2 階に避難させる津波想定避難訓練を実施しました。

結果は良好。「地震発生」から「全員退避確認」まで、所要 15 分。立ち会った消防局職員から、「鳥肌が立つほどスムーズでした」とお褒めの言葉をいただきました。

実は訓練の数日前、PTA 役員会で、防災計画へのご意見をいただきました。

- 2 階も水没するような、「想定外」の津波高を想定すべきではないか。その際、「屋上への避難」は現実的には危険かつ困難なのではないか。
- かつて校外への退避訓練を行っていた。現在はしていないが、それでいいのだろうか。
- 登下校時の災害発生に備え、スクールバスに GPS 機能が付くとよい。
- 子どもの「引き取り訓練」は実施しないのか。
- 慣れない環境・慣れないスタッフでの避難所生活は不安。金沢養護を避難所として子どもを受け入れてもらえないか。

保護者ならではの視点から発する、切実なご指摘だと思います。

今回は時間が足りず、訓練に反映することはできませんでした。また中には実現困難な内容も含まれていますが、今後へ向け、ぜひ参考にさせていただきたいと思います。



私たちは今、296 名のお子様を預かっています。それは 296 名の命を預かることに他なりません。その自覚をもって、日々の備えを心がけていきたいと思います。

← 屋上の様子。ソーラーパネルで埋め尽くされ、スペースがない。段差部分も多い。